



Espressioni di italiano colloquiale

CD
ブック

気持ちが伝わる!

イタリア語 リアルフレーズ BOOK

花本知子[著]

研究社

はじめに

イタリア語の文法はひととおり学び、基本的な会話は教科書で身につけ、辞書を引きながら講読する訓練もある程度積んだ。なのに、いざ実際に会話をすると、ちょっとした言い回しのニュアンスが捉えきれない。今耳にした“Dai!”って、どういう意味なの?“Magari!”って、いったいいくつ意味があるの?!今“Però!”って言われたけど、もしかしてほめられているの?どうして“Ci mancherebbe!”や“Figurati!”がお礼への返答になるの?—そんな「口語表現の壁」を乗り越えるためにぜひご活用いただきたいのが、この『イタリア語リアルフレーズBOOK』です。

映画に出てくるセリフが、直訳してもまいち意味不明に留まるのであれば、教科書では習っていない接続詞の意味が潜んでいるのかもしれないし、慣習的に省略される部分を自力でキャッチしなければならないのかもしれない。また、簡単そうに見える短いひとことが、思わぬニュアンスをこめて使われている可能性もあります。

本書では、実際にイタリア語で生活してみたり、映画を見たりしているとよく出くわす口語的な表現を、426集めました。どういう状況で、どんな気持ちで使われるのかを会話の中で確認すると、各フレーズのエッセンスがどんどん身についていくはず。1章から順に読み進めるのもよし、気になる章や重点的に身につけたいテーマの章から攻略するのもよし。また、巻末の索引を利用して、日本語からイタリア語の表現を探す、という使い方も便利。ぜひいろいろな角度からご活用ください。

イタリア語のチェックでは Simone Piredda さん、全体の校正では石田聖子さん、CD収録では Andrea Fioretti さんと Anna Maria Mazzone さんにお世話になりました。そして、見出し語の提案や注の整理といったサポートを辛抱強くしてくださったのが研究社編集部 鎌倉彩さんと千葉由美さんです。

いろいろな方々の協力を得て誕生した本書の、イタリア語リアルフレーズの世界を、どうぞみなさまにお楽しみいただけますように!

花本知子

この本の使い方 ～より効果的な学習方法～

この本は9つの章に分けて、実際の会話でよく使われるフレーズを、語数の少ない順に配列しています。それぞれの項目は、次のような構成となっています。

1. 見出しフレーズ (イタリア語、ルビ、日本語訳)
2. ダイアログ (イタリア語、日本語訳)
3. 注釈

どうやって勉強しようか？ という方のために、以下の勉強法をご提案します。

Step 1: まずは見出しフレーズから

見出しフレーズは、通常のテキストではなかなか見られない、しかし会話でよく耳にする表現を厳選しました。まずはひたすら見出しフレーズだけを見ていきましょう。短いフレーズをどんどん声に出して、覚えましょう。

Step 2: ダイアログ全体をチェック！

対話例は、見出しフレーズを生かしたリアルなやりとりになっています。見出しの表現以外にも「これ、使える！」と思わせる便利な言い回しがたくさん隠れているので、あわせてチェック！

Step 3: 注釈をチェック！

イタリア語ならではの表現や、初めての単語に出会ったら、注釈を見たり、辞書を引いたりして確認してください。語句の意味や使い方、文のしくみを理解して、応用力を付けましょう。

Step 4: 索引で再確認

巻末には、イタリア語と日本語の見出しフレーズ一覧を載せた索引が付いています。それぞれ眺めながら、このフレーズはどう使うんだっけ？ 日本語訳は何だろう？ この日本語はイタリア語でどう言うんだっけ？ と思い返してみてください。

Step 5: 置き換えできる余裕を

見出しフレーズは、全体で固定表現として使うものもありますが、部分的にほかの語句と置き換えることができる場合もあります。とりあえずは「まる覚え」でもかまいませんが、余裕が出てきたら、主語を *tu* (きみ) から *lei* (あ

なた) にすると？ 主語が男性でなく女性なら？ 動詞の時制を変えると？ などと考えることも大切です。イメージをふくらませ、幅広い表現ができるようにしましょう。

本書で使われている記号

* ダイアログ日本語訳の *A：もしくは *B：の左側に付いている * は、それが女性のセリフであることを示しています。何も付いていない場合は男性のセリフです。

⇒ 参照先の項目番号を示しています。例えば「⇒ [15]」となっている場合、見出しフレーズの [15] (p. 8 の Figuratì: そんなことないよ) を参照、という意味です。

発音と表記について

- ・ 見出しフレーズには、発音の目安としてカタカナルビを併記しています。ただし、カタカナではうまく表せないイタリア語の発音もありますので、実際の発音は CD でご確認ください。
- ・ 本書のカタカナルビでは、母音に挟まれた s を、北イタリア式に濁音で表記しています (例: esatto [エザット])。南イタリア式発音では、清音で [エサット] と読まれます。北イタリアの人が、南イタリア式清音を聞いて「間違った発音だ」と指摘することもあります。実際は清／濁どちらでもかまいません。
- ・ 「子音終わりの単語」と「母音始まりの単語」が並んだ際、音がつながることに注意してください (例: non è [ノネ])。

CD について

付属 CD には、Capitolo 1 から Capitolo 8 までの

1. 見出しフレーズの日本語訳
2. イタリア語の対話例

が入っています。Capitolo 9 の音声データ (MP3) は、研究社 HP より、無料でダウンロードできます (<http://www.kenkyusha.co.jp/>)。

CD のトラック番号 (および MP3 データのファイル番号) は、見開き 2 ページごとに偶数ページの左端に表示していますので、ご参照ください。

収録されている音声は、ナチュラルスピードの標準的なイタリア語です。繰り返し聞いて、リスニング能力を鍛えましょう。

実際に声に出して発音練習することも非常に大切です。テキストを見ながら CD 音声とほぼ同時に声に出して読んだり、シャドーイングをしたりなど、CD のまねをしながら練習してみましょう。速くてついていけない場合は、適宜 CD を一時停止してもかまいません。自分のペースで音読してください。より正しい発音でのトレーニングは、リスニング能力向上にもつながります。

ほかにも、口述筆記の練習をしたり (ディクテーション)、様々な方法で活用してみましょう。そして、実際の会話の場面でスムーズに口をついて出れば、そのフレーズが自分のものとなったと言えるでしょう。

[CD ナレーション]

Andrea Fioretti (日伊協会イタリア語講師。マルケ州アンコーナ出身。ローマ・ラ・サビエンツァ大学東洋学部卒。現在、東京外国語大学大学院博士課程に在籍し、比較文学を専攻。NHK「まいにちイタリア語」「テレビでイタリア語」に出演)

Anna Maria Mazzone (シチリア州カタルーニャ出身。1993~2007 年まで NHK 国際局のラジオ・ジャパンに翻訳者、アナウンサーとして勤務。現在はフリーランスの通訳・翻訳者、コーディネーター、ナレーターとして活動中。NHK「まいにちイタリア語」に出演)
鈴木加奈子 (元静岡第一テレビアナウンサー。現在はナレーター・MC として活動するほか、大学で留学生の日本語指導にあたる)

[CD 収録時間] 74 分 42 秒

※なお、ご使用の機器によっては、付属 CD がうまく再生されない場合もございます。あらかじめご了承ください。

INDICE

はじめに	iii
この本の使い方	iv
本書で使われている記号	v
発音と表記について	v
CDについて	vi

Capitolo 1	ベーシックフレーズ	1
Capitolo 2	喜怒哀楽フレーズ	33
Capitolo 3	意見・主張フレーズ	59
Capitolo 4	日常生活フレーズ	83
Capitolo 5	お願い・命令フレーズ	109
Capitolo 6	遊び・食事フレーズ	123
Capitolo 7	ビジネスフレーズ	139
Capitolo 8	恋愛フレーズ	157
Capitolo 9	熟語・慣用句フレーズ	175

イタリア語索引	191
日本語索引	195

Capitolo 1

ベーシックフレーズ

あいづちや受け答え、基本のあいさつなど、
どんな場面でも使える、短くて便利なフレーズを集めました。
コミュニケーションの始まりは、簡単な言葉のやりとりから。





1 Ciao.

[チャオ]

CHECK ✓



▶ **ただいま／おかえり。**

Figlio : Ciao, mamma.

Madre : Ciao, Massimo. Com'è andata a scuola?

子: 母さん、ただいま。

母: おかえり、マッスィモ。学校はどうだった？

★日本語の「ただいま」「おかえり」をイタリア語に置き換えると、どちらも **ciao** で事足りる。「おかえり」には **Ben tornato**. (女性 1 人に対しては **Ben tornata**.) という表現があるが、日常生活ではなく、旅行などから帰った人に対して言うフレーズ。「いってきます」「いってらっしゃい」も **ciao** で OK.

★Com'è andata?: どうだった? 漠然と、**la cosa** (物事) を主語にしているので、過去分詞は女性単数形になっている。

2 Salve.

[サルヴェ]

CHECK ✓



▶ **どうも。**

A : **Salve**, buongiorno, vorrei due etti di ricotta e tre etti di Parmigiano Reggiano.

B : Due di ricotta e tre di Parmigiano... Vuole qualcos'altro?

***A** : どうも、こんにちは。リコッタチーズ 200 グラムとパルミジャーノ・レッジャーノ 300 グラムをお願いしたいのですが。

B : リコッタ 200 とパルミジャーノ 300 ですネ…。ほかに何かご入用ですか？

★**Salve.**: どうも、こんにちは。ciao は敬語を使わない相手に対して用いられるあいさつで、敬語を使う相手には **buongiorno** (こんにちは)、**buonasera** (こんばんは) などと言うが、**salve** はその中間の表現。店員や初対面の相手に対し、敬語と非敬語のどちらを使うか迷ったときによく使われる。

★**due etti di ...**: 200 グラムの～。 「100 グラム」を **un etto** と言う。 **duecento grammi di ...** と言っても OK。お店の人が確認するセリフでは、**etti** が省略されている。

★**qualcos'altro**: ほかに何か。 **qualcosa** (何か) と **altro** (ほかの) が一体になった表現。



▶ そうだね。

A: Camminare sotto questa pioggia fino alla stazione non è il massimo.

B: Già. Ma se non abbiamo altri mezzi...

*A: こんな雨じゃ、駅まで歩いて行くのは気が乗らないね。

B: そうだね。だけど、ほかに手段がないし…。

★**pioggia:** 雨。sotto questa pioggiaで「このような雨の下では」。

★**Non è il massimo:** あまり気乗りしない(⇒ [171])。

★**Già:** そうだね、そのとおり。単純な肯定以外にも、「まあね、そういうことだね」などと諦観を表すときにも用いる。

★**mezzo:** 手段。se non abbiamo altri mezziで「ほかの手段がない以上は」の意。このseは仮定「もしも」でなく「～である以上は」を表す。このような表現では、文の後半(例: 「しかたがない」「歩くしかない」)は言わなくてもわかるので、省略されることが多い。



▶ あのね

A: Allora, com'è andato il colloquio?

B: Guarda, è andato proprio bene. Spero di essere assunto.

*A: で、面接はどうだった?

B: いや、とっとうまくいったよ。採用されるといいな。

★**colloquio:** 面接。

★**guarda:** あのね、いやその。話し始めに相手の注意を引く言い方。動詞 guardare (見る)のtuに対する命令法。leiに対するguardiもよく使われる。

★**proprio:** まさに。

★**spero di + 不定詞:** (私は) (自分が) ~することを望む。

★**essere assunto:** 採用される。assumere (採用する)の受動態。



5 Dimmi.

[ディンミ]

▶ 何かな。

CHECK ✓



A: Scusa Andrea, posso rubarti cinque minuti?

B: Anche dieci. **Dimmi.**

*A: ねえ、アンドレア、今5分いいかな？

B: 10分でもいいよ。何かな。

★rubare: 盗む、もらう。間接目的語の ti は「きみから」を表している。

★Dimmi: “dire (言う) の tu に対する命令法 di + 間接目的語の代名詞 mi (私に)” で、直訳は「私に言いなさい」。「どうぞ話して、何かな？」というニュアンスの言葉。Dimmi tutto. (どうぞ、何でも話して) というバリエーションもある。

6 Dunque,

[ドゥンクウエ]

▶ えーっと

CHECK ✓



A: **Dunque**, oggi quanti ne abbiamo?

B: Ne abbiamo dodici. Ma oggi non era il tuo compleanno?

*A: えーっと、今日は何日だったけ？

B: 12日だよ。今日はきみの誕生日じゃなかったっけ？

★dunque は「えーっと」と何を言おうか考えながら時間稼ぎをするときに便利な表現。ほかに allora もよく使われる。

★Quanti ne abbiamo?: 何日でしょうか？ ne は di giorni (日については) を置き換えた代名詞。直訳は「日については私たちはいくつ持っているか」。

7 Senti,

[センチ]

▶ ねえ

CHECK ✓



A: **Senti** Carlo, ti volevo chiedere una cosa.

B: Sì, dimmi.

*A: ねえカルロ、ひとつ聞きたいことがあるんだけど。

B: 何かな。

★senti: ねえ、あの。sentire (聞く) の tu に対する命令法。lei には senta, voi には sentite と言う。話し始めに、相手の注意を引くのに便利。



▶ ほら／あのね

A: Che cosa regali a tua sorella per il suo compleanno?

B: Non so ancora. **Sai**, è un tipo molto attento alla moda, è molto difficile indovinare i suoi gusti.

A: お姉さんの誕生日に何をプレゼントするの？

***B:** うーん、どうしよう。ほら、姉はおしゃれに敏感なタイプなの。姉の趣味に合うものを探すのは難しいなあ。

★sai は sapere (知る) の活用形だが、「知ってる？」というより、「ほら、あのね」と軽く相手の注意を引くために使われる。

★essere un tipo + 形容詞: ~なタイプである。

★attento a ...: ~に気をつかう、~に注意している。

★indovinare i suoi gusti: 彼女の趣味に合うものを見つける。indovinare の原義は「当てる、推測する」、gusti は gusto (趣味) の複数形。



▶ そう思う？

A: Guarda, è meglio chiedere scusa a Cristina il più presto possibile.

B: **Dici?** Allora cercherò di chiamarla oggi stesso.

***A:** あのさあ、クリスティーナに一刻も早く謝ったほうがいいって。

B: そう？ じゃあ、さっそく今日電話するようにするよ。

★chiedere scusa a + 人: ~に謝る (⇒ [51])。

★il più presto possibile: できるだけ早く。al più presto possibile とも言う。

★Dici?: (きみは) そう思う? dire (言う) の活用形で、「きみはそう言うの? → きみはそう思う?」と意見を問う際に使われる。lei に対してなら Dice? となる。

★cercare di + 不定詞: ~しようとする、~しようを試みる。

★oggi stesso の stesso は強調の形容詞で、「~そのもの、~自体、まさに~」というニュアンスが加わる。



10

Infatti.

[インファッティ]

▶ そうだね。

CHECK ✓

**A:** Poi la prof ci dà sempre troppi compiti. Non li finiamo mai.**B:** Infatti.

*A: それに、先生は出す宿題がいつも多すぎるんだよね。終わらないじゃん!

B: そうだね。

★prof は professore / professoressa (中・高・大学の先生) の略。口語的な言い方。

★non ... mai: 決して～ない。

★infatti: 実際に。「それは事実だね」という気持ちをこめて返事をする表現。少し諦めた感じで言われることが多い。

11

Appunto.

[アップウント]

▶ まさに。

CHECK ✓

**A:** Sai, oggi ho incontrato Luigi.**B:** Luigi? Quel ragazzo che abitava al piano di sopra?**A:** Appunto.

A: 今日ね、ルイージに会ったんだよ。

*B: ルイージ? あの、上の階に住んでた彼?

A: まさにそうだよ。

★abitare al piano di sopra: 上の階に住む。

★appunto: まさにそう。同義語に esatto, esattamente (そのとおり) などがある。

12

Allora?

[アッローラ]

▶ それで?

CHECK ✓

**A:** Luca, vorrei chiederti un favore. Sai, ho comprato un computer, no? E allora...**B:** E allora?

*A: ルーカ、お願いがあるんだけど。ほら、私パソコン買ったでしょ? それで…。

B: それで何?

★chiedere un favore a + 人: ～に頼みごとをする (⇒ [270])。

★allora は話を続けるのに言葉がとっさに出てこないときや、相手の話を促すときにも使われる。いらいらした口調だと、「だから何なの?」と突き放した感じになる。

Tipo?

[ティーポ]

CHECK

▶ たとえば?

A: Mi piacciono le attrici comiche.

B: Tipo?

A: Tipo, che ne so, Luciana Littizzetto.

A: ぼくはコミカルな女優が好きだなあ。

*B: たとえば?

A: たとえば、そうだなあ、ルチャーナ・リッティツェットとか。

★piacere: (物事が) ～に好まれる (⇒ [58], [59])。

★attrice comica: コメディ女優。

★Tipo? は Per esempio? (たとえば?) の口語的なバリエーション。原義は「タイプ、種類」。

★che ne so: そうだなあ。何と言ったらいいか、考えている最中に使う (⇒ [63])。直訳は「私はそれについて何を知っているか」。

Come?

[コーメ]

CHECK

▶ 何とおっしゃいましたか?

A: E ad un certo punto vede un distributore di benzina sulla sinistra. Superato quello, giri a destra.

B: Come? Ha detto di girare a sinistra?

A: ある地点で、左側にガソリンスタンドが見えてきます。スタンドを越えたら、右に曲がってください。

*B: えっ? 何とおっしゃいました? 左に曲がればいんですか?

★ad un certo punto: ある地点で。

★distributore di benzina: ガソリンスタンド。

★sulla sinistra: 左側に。

★superare: 越える。superato quello は過去分詞構文で「それを越えたら」。

★girare a destra: 右に曲がる。

★Come?: 何とおっしゃいましたか? 聞き返す表現として、ほかに Prego? (⇒ [24]) / Scusi? / Come, scusi? などがある。

★dire di + 不定詞: ～するように言う、指示する。